

「この一年を振り返って」

国際ロータリー第2640地区IM6組

ガバナー補佐 深井 俊明 (岸和田北ロータリークラブ)

ガバナー補佐の任命を受けたとき、私は困ったことだとの思いが強かった。というのも私には二つの心配事があった。一つは31年前にわずらった突発性難聴のため左耳の聴力を失い、年をとるにつれて正常な右耳が老化して人の話が聞き取りにくくなっていること。

このため会議の時などは補聴器を右耳に付けるがなれないため、会議が煩わしくなっている。あと一つは1年前の交通事故で家内が脳挫傷、脳出血を被りその後遺症で人の集まりに出席することを極端に嫌うことであった。しかしロータリーには指名されれば引き受けざるを得ないルールがあり、やむなくガバナー補佐の1年が始まった。私の担当は岸和田の4ロータリークラブと貝塚の2ロータリークラブの6クラブである。

7/13貝塚コスモスRCクラブ協議会をはじめとして9/27貝塚RCクラブ協議会まで6クラブの第1回クラブ協議会に出席させて貰った。どのクラブも活動計画、方針は立派である。どのクラブについても私は申し上げたことは増強と退会防止が最も難しいと思われること、総評としては最終の協議会の結果を楽しみにしていますと。

次にIM6組はガバナー公式訪問を11/19に合同で行うため、前もって10/20前述の6クラブ合同の会長幹事懇談会を平尾ガバナー、楠部代表幹事の出席のもと開催した。

この会議は(1)今年度の特記すべき活動計画

(2) 現在クラブのかかえている問題点

(3) 今年度の活動計画の進捗度

等について会議であり、内容のあるものであった。

11/19のIM6組のガバナー公式訪問は11クラブ合同で行われ、セレモニーとしては無事終了したが、11クラブ合同の公式訪問はクラブ数が多いこと、今後の検討課題であると感じた。年が明けて1/24の岸和田北RCクラブ協議会~5/9の貝塚RCクラブ協議会に出席して感じたことは増強と退会防止に苦戦しているクラブが多いことである。幸い岸和田RC(4名)、貝塚RC(3名)、岸和田東RC(1)に新会員を迎えることができた。この3ロータリークラブの努力に拍手を送りたい。しかし他の3ロータリークラブからはまだ新会員の報は聞こえてこない。昔から、健全なる身体に健全なる心が宿るとよく言われているがロータリーについても健全なる企業状況のもとで奉仕活動や親睦活動ができると私は信ずる。この数年の間に会社閉鎖や会社困窮のためどれだけ多くのロータリアンが心ならずもロータリークラブを去っていったかを振り返ってみて、企業活動の中にロータリー精神を重んじることをいささかも否定するものでないが、ロータリー活動においてもまず第一は健全なる企業であり、次に奉仕活動や親睦活動ありきと定義付けるべきであると思っている。

(RI第2640地区マンスリーレター・2006年6月号より)